

6/16 福井

# 核禁止会議参加見送り

## 首相表明、日米同盟重視

21日初開催

日本政府は、オーストリアで21日に開催する核兵器禁止条約第1回締約国会議へのオブザーバー参加を見送ることを決定した。岸田文雄首相が15日の記者会見で表明した。核禁止条約は、広島、長崎の非人道的被害を踏まえて核兵器を違法化した初の条約だが、反対する米国との同盟を重視し

た。会議参加で唯一の戦争被爆国としての存在感を示すよう期待していた被爆者らに、落胆が広がった。

### 【8・29面に関連記事】

岸田氏は「核兵器国は、力もまだ条約に参加していない。日本としては唯一の同盟国である米国との信頼関係の下、現実的な核軍縮、不拡散の取り組みを進める方向で検討している。

首相は被爆地広島選出であり、「現実的な核軍縮の取り組み」の推進を強調する姿勢だ。15日の会見では出席者は「まだ決定していない」と述べることになった。

ただ前回2015年の再検討会議は核保有国と非保有国の対立を背景に決裂。その後、オーストリアなど非保有国が禁止条約を主導して配慮した形だ。

岸田氏は「核兵器国は、保有国も加わる核拡散防止条約（NPT）再検討会議は、米ニューヨークで8月に開催予定。岸田氏は日本の中止をして初めて出席する方向で検討している。

核実験で被害を受けた「ヒバクシャ」の救済を巡る「行動計画」をまとめる。核軍拡加速に警鐘を鳴らす「政治声明」も策定。保有国に軍縮遂行を求める構えだ。

会議前日6月20日にウイングで開催される「核兵器の非人道性に関する国際会議」には、日本政府は代表団を派遣し、被爆者が証言する。（共同・藤原雄也）

米国の「核の傘」に日本同様、国防を依存する北大西洋条約機構（NATO）は、日本政府は代表団を派遣し、被爆者が証言する。（共同・藤原雄也）

加盟国のドイツやノルウェーなどはオブザーバー参加を決めている。

6/16 福井

## 核禁止会議 日本参加見送り



記者会見する原野靖男さん=15日午後、長崎市

# 被爆地 首相に落胆 「運動足りないのか」

日本政府が核兵器禁止条約第1回締約国会議への参加を見送ったことに、被爆地の広島・長崎では「残念」「運動が足りないのか」と落胆や憤りの声が上がった。広島県原爆被害者団体協議会の佐久間邦彦理事長(77)は、「岸田文雄首相は『核兵器のない世界を目指す』と盛んに言つてこるのに、その方向に踏み込まない。非常

に残念だ」と、広島選出の岸田氏に対するもじりを口にした。  
【4面に本記】  
もう一つの県被団協の箕牧智之理事長(80)も「今まで多くの団体の訴えが首相の耳にも届いていたのに、ショックだ」と落胆した。

長崎県時津町の被爆者で、女性被爆者の半生を題材にした組曲などを歌つ合唱団で活動する長崎靖男さん(79)は「私たちの運動が足りないのも原因だと思う」と肩を落とした。

長崎の被爆者団体は5月、各國に条約参加を呼びかける「核兵器禁止条約の会・長崎」を結成。共同代表の田中重光・長崎原爆被

災者協議会会長(81)は、「ロシアのウクライナ侵攻で核の脅威が高まる中、日本の役割は『被爆国として會議に出席し、核とは共存できないと主張する』ことだ」と話す。「政府の責任（核保有国と非保有国）構造化役では、一体何なのだろうか」と首をかしげた。